

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公表番号】特表2015-500102(P2015-500102A)

【公表日】平成27年1月5日(2015.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-001

【出願番号】特願2014-546184(P2014-546184)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/04 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/04 H

A 6 1 F 13/00 3 5 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月16日(2015.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

医療用包帯製品であって、当該医療用包帯製品は、

(a) 湿気の浸入を防止すべくシール可能な湿気不浸透性の材料から形成された包囲物と、

(b) 前記包囲物内に位置決めされ、且つ、使用するまで湿気の浸入に抗して前記包囲物内にシールされている医療用包帯材料と、

を備えており、

前記医療用包帯材料は、

(i) 主要な上面および主要な下面を有する編み地層を備えた基材であって、前記編み地層は、間隔を隔てたエッジと、

少なくとも一本のヤーン糸が、当該基材の幅に沿って前記主要な上面から前記主要な下面までの間隔を横切って、且つ、前記主要な上面と前記主要な下面との間の間隔を横切った前後往復パターンで延びるように編まれて、単一の、一体化した分離不能な三次元構造を形成するところの複数の相互接続された編み地ヤーン糸と、を含み、

前記少なくとも一本のヤーン糸は、当該基材の上面及び下面の両方に連続パターンを提供すべく、非隣接ニードル位置間にて連続コースでの前後往復パターンで延びており、

ここで、針床間隔が7.1mm～8mmであり、この針床間隔は、7.1mm～8mmの範囲を外れた針床間隔で作られた基材よりも大きな基材剛性を達成するものであり、

当該基材の総厚みが4.75mm～4.90mmである、基材と、

(ii) 前記基材内に含浸され又は前記基材上にコートされる反応システムであって、実質的に湿気無しの条件に維持されるときには安定しているが、湿気に晒されたときには硬化し、前記三次元構造と協働して剛性のある自己支持的な構造を形成する、反応システムと、

(iii) 前記基材をその長手方向に沿って包むクッション性のラッピングと、  
を備えてなる、ことを特徴とする医療用包帯製品。

【請求項2】

前記クッション性のラッピングは、不織繊維から構成されている、請求項1に記載の医

療用包帯製品。

【請求項 3】

前記クッション性のラッピングは、ポリプロピレンから構成されている、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 4】

前記クッション性のラッピングは、疎水性纖維から構成されている、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 5】

前記基材は、グラスファイバー(fiberglass)から構成されている、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 6】

前記基材は、ポリエステルから構成されている、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 7】

前記編み地層は、3本のガイドバーおよび3本のヤーン糸を用いて編機上にて編まれたものである、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 8】

第1のヤーン糸は、フロント側ガイドバーに糸通しされ、連続したコースで非隣接ニードルに対し前後往復しており、

第2及び第3のヤーン糸は、それぞれ中間ガイドバー及びバック側ガイドバーに糸通しされ、同様に前後往復している、請求項 7 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 9】

第1、第2および第3のヤーン糸は、それぞれフロント側ガイドバー、中間ガイドバー及びバック側ガイドバー上にて連続的に編まれる、請求項 7 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 10】

前記針床間隔が7.3mmである、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 11】

前記針床間隔と総厚みとの比が71%である、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 12】

前記反応システムを含浸した後の前記基材の重さが、2490~4534g/m<sup>2</sup>である、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 13】

含浸後の基材の仕上げ重さが、3000~4600g/m<sup>2</sup>である、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 14】

主要な上面および主要な下面を有する編み地層を備えた基材であって、

前記編み地層は、間隔を隔てたエッジと、

少なくとも一本のヤーン糸が、当該基材の幅に沿って前記主要な上面から前記主要な下面までの間隔を横切って、且つ、前記主要な上面と前記主要な下面との間の間隔を横切った前後往復パターンで延びるように編まれて、单一の、一体化した分離不能な三次元構造を形成するところの複数の相互接続された編み地ヤーン糸と、を含み、

前記少なくとも一本のヤーン糸は、当該基材の上面及び下面の両方に連続パターンを提供すべく、非隣接ニードル位置間にて連続コースでの前後往復パターンで延びており、

針床間隔が7.1mm~8mmであり、この針床間隔は、7.1mm~8mmの範囲を外れた針床間隔で作られた基材よりも大きな基材剛性を達成するものであり、

当該基材の総厚みが4.75mm~4.90mmである、ことを特徴とする基材。

【請求項 15】

前記基材は、インストロン(商標)引張強度試験機での4分剛性値が0.9kg/cm<sup>2</sup>である、請求項 1 に記載の医療用包帯製品。

【請求項 16】

前記基材は、インストロン(商標)引張強度試験機での4分剛性値が0.9kg/cm<sup>2</sup>である、

2 である、請求項 1 4 に記載の基材。